



使用に際して、この説明文書を必ず読むこと。また、必要な時に読めるよう大切に保管すること。



ビタミンC「タケダ」

ビタミンC製剤

第3類医薬品

特徴

- ビタミンC(アスコルビン酸)とビタミンCのカルシウム塩(アスコルビン酸カルシウム)にビタミンB₂を配合したビタミンC製剤です。
- 6錠(15歳以上の1日最大服用量)中にビタミンC 2,000mg、カルシウム68mgを含みます。
- ナトリウムを含まない、服用しやすい黄色の小型錠です。



C-Ca:アスコルビン酸カルシウム

ビタミンC 2,000mg
カルシウム 68mg

6錠(15歳以上の1日最大服用量)中に含みます。

⚠ 使用上の注意



相談すること

1. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師または薬剤師に相談すること

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
消化器	悪心・嘔吐、胃部不快感、胃部膨満感、食欲不振

(2) 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合

2. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続または増強が見られた場合には、服用を中止し、医師または薬剤師に相談すること

下痢

効 能

1. 次の場合のビタミンCの補給
肉体疲労時、妊娠・授乳期、病中病後の体力低下時、老年期
2. 次の諸症状の緩和
しみ、そばかす、日やけ・かぶれによる色素沈着
3. 次の場合の出血予防
歯ぐきからの出血、鼻出血

「ただし、上記2および3の症状について、1ヵ月ほど使用しても改善がみられない場合は、医師、薬剤師または歯科医師に相談すること。」

用法・用量

次の量を、食後に水またはお湯で、かまずに服用すること。

年 齢	1回量	1日服用回数
15歳以上	1～3錠	2回
11歳～14歳	1～2錠	
7歳～10歳	1錠	
7歳未満	服用しないこと	



<用法・用量に関連する注意>

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- (2) 用法・用量を厳守すること。

(裏面へ続く)

成分 6錠(15歳以上の1日最大服用量)中

成分	含量
ビタミンCとして	2,000mg
〔アスコルビン酸(ビタミンC)	1,400mg〕
〔アスコルビン酸カルシウム	726mg〕
リボフラビン酪酸エステル(ビタミンB ₂ 酪酸エステル)	6mg

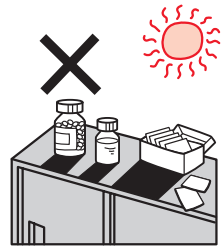
添加物：部分アルファー化デンプン、ステアリン酸Mg、トウモロコシデンプン

<成分に関連する注意>

- (1)尿および大便の検査を受ける場合には、本剤を服用していることを医師に知らせること(尿および大便の検査値に影響をおよぼすことがある)。
- (2)本剤の服用により尿が黄色くなることがありますが、リボフラビン酪酸エステルによるものなので心配ありません。

保管および取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。なお、本剤はとくに吸湿しやすい製剤なので、服用のつどピンのフタをしっかりとしめること。
- (2)小児の手の届かない所に保管すること。
- (3)他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる)。
- (4)ピンの中の詰め物は、フタをあけた後はすてること(詰め物を再びピンに入れると湿気を含み品質が変わるものになる。詰め物は、輸送中に錠剤が破損するのを防止するためのものである)。
- (5)使用期限を過ぎた製品は服用しないこと。
- (6)箱とピンの「開封年月日」記入欄に、ピンを開封した日付を記入すること。
- (7)一度開封した後は、品質保持の点から開封日より6ヵ月以内を目安になるべくすみやかに服用すること。



マメ知識

ビタミンCについて

- ほとんどの動物は体内でビタミンCをつくることができますが、ヒト・サルなどはつくることができません。
- ビタミンCが多く必要になる肉体疲労時、妊娠・授乳期、病中病後の体力低下時や老年期のビタミンCの補給に役立ちます。
- シミ・ソバカスなどの緩和作用がよく知られています。また、細胞と細胞をつなぐコラーゲンの生成に必要で、血管壁を丈夫にし、歯ぐきからの出血や鼻出血を予防します。
- 水溶性なので体内に蓄積される量が少ないビタミンです。

包装 100錠、300錠

本製品内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、または下記にお願い申し上げます。

武田薬品工業株式会社 ヘルスケアカンパニー「お客様相談室」
〒103-8668 東京都中央区日本橋二丁目12番10号 ☎0120-567087
受付時間：9：00～17：00（土、日、祝日を除く）

- タケダ健康サイト(パソコン用) <http://takeda-kenko.jp>
- タケダ健康モバイルサイト(携帯電話用) <http://tkdm.jp>

製造販売元  **武田薬品工業株式会社**

〒540-8645 大阪市中央区道修町四丁目1番1号